

JIA長野県クラブ52

社団法人 日本建築家協会

2002. 1. 1

CPD認定の各シリーズ研修会より



建築見学会（松本市美術館）



会員研修会

本音で語ろう会



技術交流会

創造の喜びを、今こそ



会長 松下重雄

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。旧年中は当クラブに対し、会員はもとより賛助会、JIA本・支部、更には各行政機関ならびに友好団体の皆々様には多大な御理解と御支援、御声援を賜り厚く御礼申し上げます。本年も倍旧の御指導、御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年の年初会報（46号）で20世紀は戦争と環境破壊の世紀であったが、21世紀では平和と自然の有難さを教訓としたい旨のことを書かせてもらいましたが、どうもそれは簡単にいかないようです。9月11日のニューヨークでの世界貿易センタービル崩落を誰が予測し得たでしょう。今や、「どこで何が起っても不思議ではない」としか言いようがないようです。これが一層悪いシナリオの引き金にならなければ良いのですが…。しかし、神様は私達人類に破壊の本能と共に「創造」の喜びを与えてくれています。そして、私達建築家はその申し子である筈です。こんな時代にこそ真価を發揮し、社会をリードしなければなりません。どんな逆境の中でもアイディアを提案し、チャレンジするのです。そんな行為に、社会はきっと期待を寄せててくれるでしょう。

さて、皆さんは既に御存知のことだと思いますが、今年はJIAにおけるCPD（継続職能研修）の本格実施の年ですね。恐らく、5月の総会後には今まで2年間の試行期間を終え、本当のカウントが始まります。残念ながら今までに行われた当クラブの認定プログラムへの参加は期待した程良くありませんでした。会員委員会や関係当事者は正直なところ、がっかりしています。高い会費を払っているうえに、そんな時間は無駄だと思ったり、今更何故そんなことをしなければならないの？と考えているのだと思いますが、こんな厳しい時にも自分の仕事以外のことを骨身を削ってやってくれている仲間がいることを忘れないで下さい。そして、相変わらず研修機会の認定プログラムは提供し続けます。やはり行かなければ損だと思っていただけるまで歯をくいしばって！

3月には、記念すべき第10回文化講演会が芥川賞作家の藤原智美氏をお招きし「家族を『する』家」と題して行われます。そしてその頃「愛と情熱の家づくり・第2集」も発行予定で関係者が骨を折っています。御期待下さい。

皆様の益々の御健勝と御発展を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



「こんなにためになる話は久しぶり」会員研修会

赤羽吉人

(株)林魏建築設計事務所

11月27日メルパルク長野に於いてCPD認定プログラムとなる会員研修会として講演会が開催された。講師はJIA千葉地域会代表で千葉銀行顧問も務めておられる田中修一氏。講演テーマは「建築家のためのファイナンシャルビジネス」、サブタイトルとして（お金のことをもっと知ろう）と題されており、有用な話が聴けるのではないかとの期待を持って会場に赴いた。

講演の主旨は明快で、建築家は依頼を受けて仕事をするだけでなく、自ら提案をして仕事を生み出す必要ではないかということ、建築家本来の仕事分野以外のことも勉強しないと施主に不利益をもたらすことがあるということの2点であった。

前段は、遊休市街地の有効利用の提案等建築家が質の高いプロジェクト提案を率先して行うことで、街並みがプレハブに埋め尽くされないようにしようという提案で、全くその通りと頷きながら、松本をはじめとするまちづくりで我々の仲間が活躍している長野県の状況を誇らしく感じさせられた。

後段は建築工事に付随する様々な財務の話で、我々が常々不得意な分野として遠ざけている工事費以外の諸費用について具体例を示しながら解説していただいた。総事業費の簡単な求め方や、相続対策としての建築工事の持つ意味合い、住居系以外の建築では消費税の還付請求ができるなど、興味の尽きない話題と話しつぶりに皆居眠りも忘れて聴き入っていた。

講演会には当日開かれた地域サミットの出席者10名を含め45名が参加した。これ程実務に直結する話が聴けるとなれば今後も参加しない手はないと思えた。

こういうCPDプログラムは是非継続してほしいものである。田中氏の続編の再講演が期待される。

会員の皆様へお知らせ

技術交流会と新年会

日時 2002年1月23日(水)

技術交流会 15:45~18:15

◇担当:3社 CPD認定単位:2.5単位

新年会 18:15~20:00

会場 「メルパルクNAGANO」長野市鶴賀高畠752-8

*「文化講演会」(3月6日・水)に併せて「あすなろ建築展」を行いますので、作品の準備をお願い致します。



シリーズ研修会に参加して

林 隆

林建築設計室

快晴の12月7日(金)13:00より松本市において、シリーズ研修会「建築見学会・技術交流会・本音で語ろう会・忘年会」が行われた。

建築見学会は、完成間近の「松本市美術館」。宮本忠長先生から設計コンセプトやプロポーザルでの審査経緯についてのご説明をいただき、その後館内を案内していただいた。松本の歴史や風土を意識された空間構成・ディテール、そして何といっても7,700m²というスケールには圧倒され大きな感銘を受けた。黒く輝くスパンドrelsは、時間や光の変化によっていろいろな美しい表情を見てくれた。来春の開館後には、再びゆっくり見せていただきたいと思う。

技術交流会以降は「ホテル花月」にて行われた。コクヨ株の主任研究員により「ビジネスを支えるオフィスへ変容するワークスタイルと支援環境」と題して講演していただいた。多くの写真の紹介とともに世界のオフィス空間の現状を知ることができ、かなりの部分で驚きを感じた。思わず、自分の粗末な事務所と部分的に比較してしまい、何とかならないものかと考えてしまった。

引き続き本音で語ろう会。今回はテーマを細かく限定せず、「賛助会員から見た建築家のるべき姿」というような話題から、四つのテーブルに分かれ議論が始まった。

途中で差し入れしていただいた「たいやき」は最初のかたい雰囲気を一気に和らげてくれ、あの気配りや間の取り方は建築家には必要なのだ、と変なところで関心しつつ、「刺激し合えるいい関係だ」「さらに両者の関係を発展すべき」そして、ゼネコンの役割・CM方式・CPDについてなど、話題は広範囲に及んだ。正会員と賛助会員とが、日常の業務以外のことについて話ができる機会はなかなかないので、楽しく有意義な会であった。

そして最後の忘年会。忙しく時間が過ぎていく毎の中で、飲んで語れるこの会は時間を忘れて大いに盛りあがった。「愛と情熱の家づくりvol.2」が3月に発売になることも発表され、来年以降私達にとって明るい年になることを祈りながらお開きとなった。

JIAに入会して1年半が過ぎた。まだ一部の活動にしか参加できないが、参加することによりはじめて人と巡り会え、自分を磨ける機会ができるように思う。縄手界隈での二次会に誘っていただき、先輩方のバカな(失礼)話を聞けたことも、最後の大きな楽しいひとときだった。



自作パソコンのすすめ

須田 考雄

(株)アーキ・クリエイション

21世紀に入った今、世の中はドラマチックに変化しており好き嫌いでは済ませなくなってきた。パソコンもそうである。悪戦苦闘して取り組み少し使えるようになって、機能を知れば知る程手放せなくなる。何でも打ち込む。編集し、出来たものはプロ、素人の差が少ない。便利な世の中になったものである。

パソコンを組立てるきっかけは、ノートパソコンを便利良く持ち歩き故障したことである。電源供給のアダプターケーブルが断線し、変えようと思ったら何と8,500円。目玉が飛び出た。その上お取寄せですぐ間に合わない。差込口がメーカー毎に違う。携帯電話のアダプターの原価が100円以下と聞いた後だったのでショックが大きかった。躊躇しているうちに今度はバックライトがつかない。しまった。一瞬青くなった。なんと今度は、3~4万円かかるとのこと。しかも修理に3~4週間。商売上がったりである。

そうこうしている内に女房から安いパソコンを売っているお店があるとの情報。早速行ってみる。キットなのである。何だキットか、組立てられるか自信がない。試しに見積って貰い、色々と聞いてみると自由にパーツを選べ、将来の機能の拡張性も高い。パーツが故障しても殆どのパーツが驚くほど安いのである。外付けのフロッピードライブを買った時は確か12,000円位だったが、今は内蔵型であれば1,600円程度で買える。2,000円位のパーツが多いのである。しかもパーツの点数が10数点で、ドライバー一丁で組立てられるという。プラモデルよりも楽だなんて信じられない。今までにはメーカーに頼り切りで中身についてはブラックボックス。反省していた所だったので少し興味が湧いて来た。駄目元で一丁挑戦してみるか。大胆になった。ボケが始まり何の知識も無いのに。

どうやら心臓部であるマザーボードには、2社の流れがあり、将来市場での優位性は、どちらが良いか解らないが、殆どのメーカーは何れかを選んでいるのである。マニュアルは英語版しかない。一瞬、たじろいだ。しかし、結線図のポイントが解ればそれで良く、早ければ2~3時間で組立てられるとのこと。慎重に、何度も確かめながら組立て1日で充分であった。パーツの名前や機能を理解し、パソコンの中身が理解出来たことで大変身近な存在になり、故障に恐れることが無くなった今は、気分が爽快である。皆さんも挑戦してみては如何ですか。



テーマは『地球との共存』 防水の3つの視点から見た実力

森山 充

田島ルーフィング(株)北関東営業所

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は会員の皆々様に、様々な場面において弊社諸防水工法についてご検討ならびにご採用を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、京都議定書の発効も決まり、一層「環境対応」の流れは促進されるべきこととなりました。「環境対応の防水」は、高耐久・温暖化防止・省エネ 各々の実力が鍵となります。

その答えは、アスファルト防水なのです。東西アス仕様はもっとも環境負荷の低い防水工法であり、『地球との共存』を新築・改修問わず実現してゆきます。

●高耐久：長寿命実績と開発。(LCA分析での裏付け)

●温暖化防止：在来工法CO₂発生を60%抑制が可能。

：現場CO₂発生ゼロも実現、ACS(アスファルトコンテナシステム)。

●省エネ：省エネ基準対応、信頼の外断熱スペック群。

：屋根緑化防水システムの推進。(評価書取得済)

本年も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



建築家の方々への要望

林 直樹

YKKアーキテクチャラルプロダクト(株)

激動の21世紀に入り、これまでの常識がことごとく変化しています。日本人の生活も技術革新により過去とは比較できないほど便利になりました。石炭エネルギーによる環境を犠牲にした大量生産、大量消費の経済発展の時代から大きな変化が見られます。私どもの関わる建築に於いても、市場のニーズはデザインの洋風化、高級化、高機能化、高品質化、そして個性化が求められておりますが、若年層のプレハブ住宅志向や、高齢者層のマンション志向も昨今の傾向でないかと思います。プレハブ化率の高い長野県ですが、建築家の方々には是非とも、施主に対して、住宅本来の住む人と周辺環境の健康を守る建築を提言頂き、環境共生の時代での、環境にやさしい健康、長寿、環境のバランスの取れた設計コンセプトを反映する為に、長野県の気候風土で育ち、その気候風土に一番適合した、豊富な長野県材を使った在来工法による住宅をJIAの建築家の方々から力強いご提案を頂き、後世に胸を張って評価して頂けるような建築を、我々関係業者を取り込んで推奨して頂く事をお願いいたします。

クラブインサイド

「愛と情熱の家づくり」vol.2説明会 関 邦 則

10月18日、松本市のホテル飯田屋で開催。今回は35名が参加意志を表明。編集協力者（オフィスエム）も加わり、本の全体構成や各自製作原稿の提出方法の説明などを行いました。来年の早い時期に発行する予定。

第3・4回まちづくり視察会 川上 恵一

10月9日に東部町田中(出席者13名)、11月6日に湯田中渋温泉(9名)と東信、北信のまち並をウォッチング。地元の住民、商店主の愛と情熱のまちづくりが繰り広げられていた。全4回を通して皆勤の賛助会員もいてその目は輝いていたが、正会員の参加者が少ないのが残念！

第1回事業委員会

上村 保 弘

10月22日松本で開催。第10回文化講演会について協議。10回目を迎えるに当たって、広く一般にも参加を呼びかける。講師は藤原智美氏他3~4名の候補より打診する。基調講演とパネルディスカッションを行う。

第4回正副会長・委員長・賛助会長会 松下 重雄

11月5日開催。11月27日の幹事会、地域サミット、会員研修会等のおさらい。12月7日の見学会、技術交流会、本音で語ろう会、忘年会の細部検討。新年会、技術交流会を1月23日に決定し概要協議。文化講演会は、あすなろ建築展と併催し3月初旬、講師は藤原智美氏を打診。CPD有料化を協議。会計中間報告を行った。

第4回会員委員会

久保 隆夫

11月15日松本にて正副会長出席のもとで開催。11月27日に行われる地域サミット長野と併催される会員研修会の準備。また12月7日に開催の「建築見学会」「技術交流会」「本音で語ろう会」について協議された。

第6回幹事会

渡辺 一成

11月27日長野市メルパルクで開催。クラブ報告、本部・支部報告。第10回文化講演会の講師は藤原智美氏に決定。12月7日開催の建築見学会(松本美術館)、技術交流会、本音で語ろう会、忘年会のスケジュール等の確認。2002年1月23日開催する技術交流会、新年会のスケジュールを決定。学生卒業設計コンクール2002&あすなろ建築展について討議された。

会員研修会

久保 隆夫

11月27日、メルパルク長野において地域サミットに併せ『建築家のためのファイナンシャルビジネス』ーお金のことをもっと知ろうー講師は千葉地域会代表の田中修一氏。参加者は約50名、終了後懇親会開催され盛会。

クラブアウトサイド

第6・7回支部教育委員会 市川 英一

第6回、9月26日開催。カルチャーセンターとの共同見学会についての最終確認を行った。

第7回、10月19日開催。「AG2001建築家のメモ展」のレビューについて、テーマを[建築家のメモに期待するもの]とし、CPD認定を申請することとした。

第8回全国地域会合同会議 松下 重雄

JIA金沢大会の前日(10月10日)から丸1日半みっちり討議。パートⅠは「建築家資格制度とCPD」についてグループ討議。パートⅡは「JIAが抱える諸問題」について全体会議。パートⅢは「統・建築家資格制度とCPD」についての全体討議。特にパートⅢでの各地域会からの熱の入った意見交換は疲れを忘れさせた。

第1回支部選挙管理委員会 甘利 享一

10月18日開催。11月15日付で役員改選に伴う告示を行う事になり、その結果自由選挙(定数16名の内7名)の立候補を12月14日届出期間として受付ける。

本部理事懇談会

出澤 潔

JIA大会前日に開催されることが恒例になっている理事懇談会は10月11日、金沢市民芸術村管理棟にて開催。米国での同時多発テロによる現地設計事務所の災難に対する支援、建築家資格制度をめぐる動きとCPDの推進について、基本政策会議の動きなどについて協議。

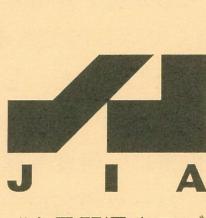
第2回地域サミット

松下 重雄

10月23日開催。アキテクツガーデン2001「銀座建築祭」のオープニング直前にINAX会場で行われ、金沢大会の余韻で活発な意見交換が行われた。

第4・5回 本部会員増強委員会 出澤 潔

10月25日、11月26日開催。会員構成の現況分析、積極的な会員増強の手段、入会インセンティブとなる仕組みの検討、入会者向けのリーフレット作成について、今後の予定などを審議。入会候補者のリストアップを行った。



JIA長野県クラブ

編集人 依田政司
発行人 松下重雄
発行所 JIA長野県クラブ
長野市南長野妻科
426-1
長野県建築士会館内
TEL 026(232)3897
FAX 026(232)5303
作成 新建新聞社

皆様からの投稿をお待ちしております。誌面へのご意見もお寄せ下さい。